

高齢者大学 半世紀

白老町高齢者大学の創立50周年記念式典と記念学園祭が10月8日、中央公民館で行われ、学生や町民が半世紀の節目を盛大に祝いました。

式典には関係者150人が出席。始めに安藤尚志学長が「来年には大学機能を旧社台小に移転して新たな歴史を刻む。今後も町民に親しまれ、より多くの学生が集う大学を目指し、さらなる魅力化に努めたい」と式辞。大塩英男町長、戸田安彦道議、小西秀延町議会議長が「新たな一步を踏み出す学生の皆さんが生きがいを持って活躍できる環境づくりに努めていく。大学のますますの発展を祈る」と祝辞を述べました。

会場には書道や陶芸、文芸、裁縫などのクラブの作品が並びました。また、コーラスや器楽演奏、詩吟、カラオケなどのステージも披露されました。

同大学は昭和49年に設立。現在は141人の学生が活動しています。

記念式典・学園祭

